

吉田健二教授退職記念号によせて

長年にわたって本学部の教育、研究等に貢献された吉田健二教授がこの3月に定年退職を迎えられました。法政大学経営学部経営学会では、先生のご功労に敬意を表し、『経営志林』の月号を退職記念号として刊行することとしました。

吉田先生は1979年3月に防衛大学校人文・社会科学専攻管理学専門を卒業された後、1980年4月に筑波大学経営・政策科学研究科修士課程に入学され、1982年3月に同課程を修了と同時に経済学修士号を取得されました。その後、1982年8月ニューヨーク州立大学バッファロー校経営学博士課程に入学され、1988年9月に同課程を修了と同時にPh.D.を取得されました。

吉田先生は1987年1月から6か月間、ニューヨーク州立大学バッファロー校非常勤講師、1988年8月から4か月間、同校のpost-doctoral scholarを務められました。帰国後は、1989年9月から6か月間の一橋大学産業経営研究所客員研究員を経て1990年4月に法政大学経営学部助教として着任され、1996年4月教授に昇格されました。以降、先生は2026年3月に定年退職を迎えるまで、36年の長きにわたり経営学部奉職されました。

吉田先生は、教育面で経営学部と大学院経営学研究科で主に「経営戦略論」と関連分野を担当され、学生指導にご尽力されました。研究面でも、経営志林への収録をはじめ、日本生産性本部、社会経済生産性本部などでの著作出版、学会発表などを通じてご活躍されました。更に、経営学部教授会副主任を担われ、学務面でもお力添えいただきました。

この場を借りてこれまでのご尽力・ご貢献に深謝申し上げます。またご退職後も益々のご活躍をお祈りいたします。

2026年4月

法政大学経営学部長

金 瑠 晋

